



取付業者さまへ

- 取付けの際は、必ずこの説明書に沿って正しく取り付けてください。
※説明書に記載されていない方法で取り付けられ、それが原因で故障を生じた場合は、商品保証の対象外となりますので十分ご注意ください。
- 同梱の取扱説明書は取付完了後、必ずお客さまにお渡しください。
※保証書（取扱説明書裏表紙）に貴店名、取付日を忘れずにご記入ください。

安全のために必ずお守りください

ここでは取付けに際して、守らなければ人身事故や家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。作業前にこの項目をよくお読みいただき、正しく取り付けてください。

●用語および記号の説明

	警告	取付けを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
	注意	取付けを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。
	……	「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
	……	「分解してはいけません!」
	……	「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

警告		
	●電気工事・水道工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行う。 ※火災や感電、水漏れの原因になることがあります。	
	●修理技術者以外の人には絶対に分解や修理・改造を行わない。 ※ケガや故障の原因になります。	

付属部品

●付属部品の内容と数量が合っていることを確認してください。

化粧台間口	【サイド収納なし】 W500・600・750 【サイド収納あり(L)】 W750・900	【サイド収納なし】 W900 【サイド収納あり(R)】 W750・900
即湯配管セット品番	EG-FL-AR2-75F	EG-FL-AR2-90F
フレキホース(短)	290mm…1個	570mm…1個
フレキホース(長)	470mm…1個	720mm…1個
六角ニップル	1個	
ソケットセット	2セット(各2個/セット)	
即湯器セット	1セット	
施工説明書	1部	

注意

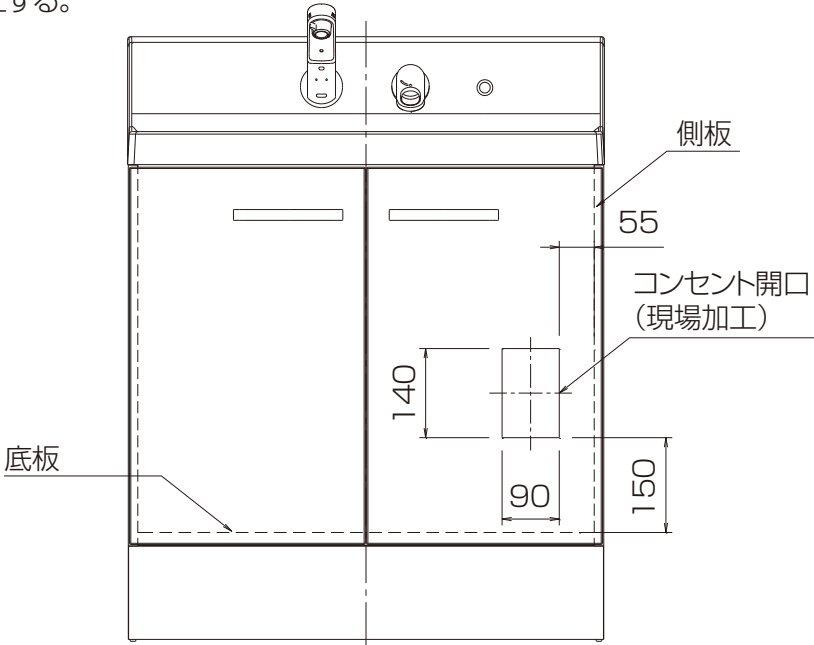
- 湯水を逆に配管しない。
- 電源プラグを抜くときはコード部分を持って引っ張らない。
必ず先端のプラグ部分を持って引き抜く。
※感電やショート・発火による火災の恐れがあります。

お願い

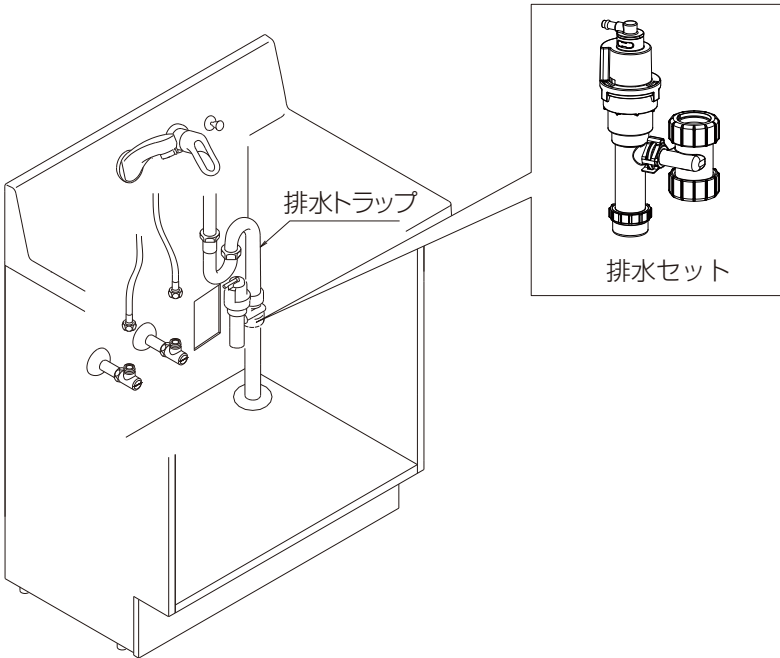
- 洗面ボウル表面は傷つきやすいので注意して作業する。
 - ・上に乗らない。
 - ・キャビネットや工具などの固い物を上に落としたり、載せて引きずったりしない。※キズが付くと補修しても完全に元の状態には戻りません。
- 洗面化粧台の木製部分に、養生テープなどの粘着物を付着させない。
※表面材の剥がれを引き起こす原因になります。
- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコールなどの溶剤や油類を使用して本体を拭かない。
※変色や変形の恐れがあります。
- 給水・給湯管および排水管が所定の位置に取り出していない場合は必ず取り出し直す。
※取出位置がずれたまま接続すると漏水の原因になります。

施工前の確認

- ①キャビネットの背板(下図位置)に電源コンセント用の開口(90mm×140mm)を加工する。



- ②即湯器に同梱されている排水セットを排水トラップに取り付ける。

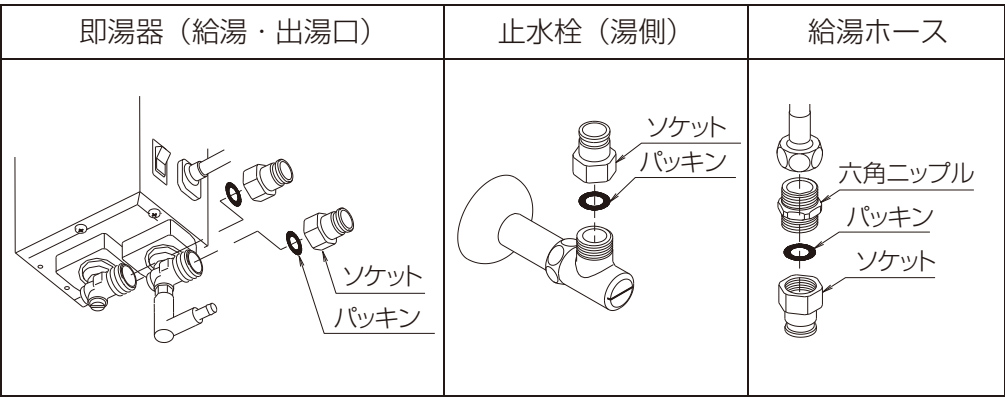


即湯器本体の取付け

①ソケットの取付け

即湯器（給湯・出湯口）、止水栓（湯側）、水栓金具の給湯ホースにソケットを取り付ける。

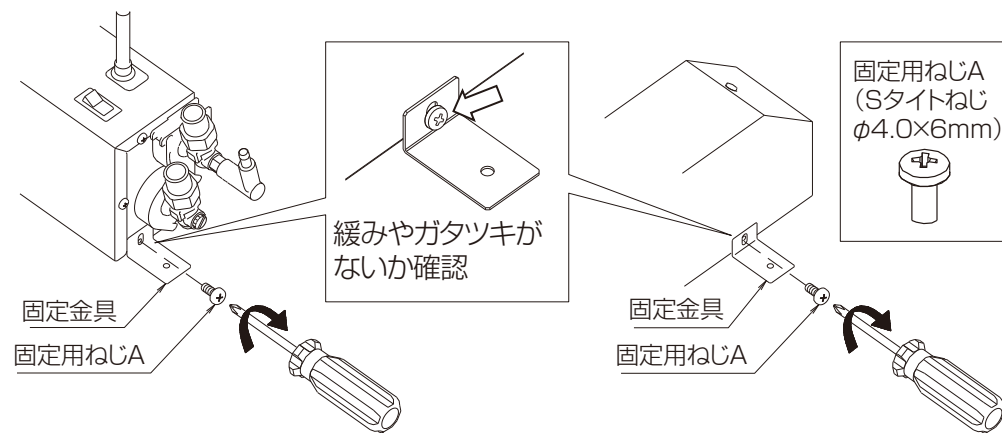
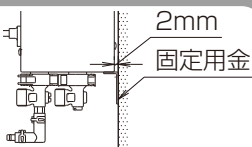
注意 ソケットの中にパッキンが入っていることを確認する。
※漏水の原因となります。



②固定金具の取付け

即湯器本体に固定金具を手回しドライバーで即湯器本体に取り付ける。

固定金具は即湯器本体から2mm出した状態で取り付けてください。
※即湯器本体が垂直に取り付かなくなる恐れがあります。

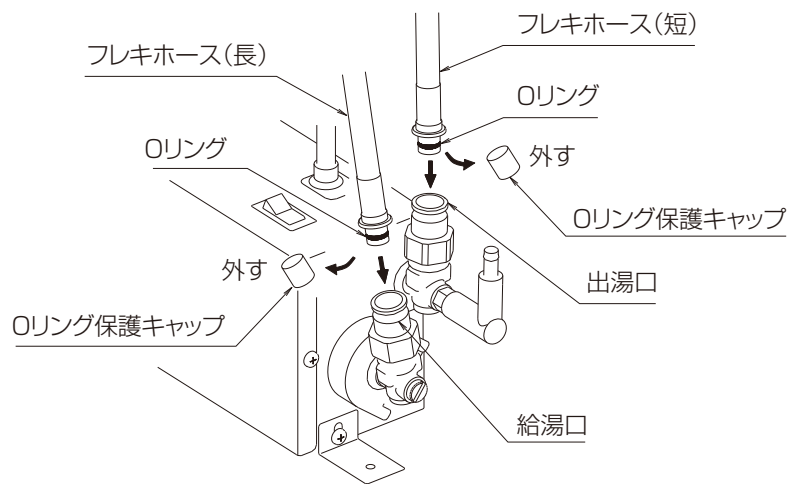


注意 電動ドライバーは使わない。
※トルクが強すぎて、固定用ねじが空転する恐れがあります。

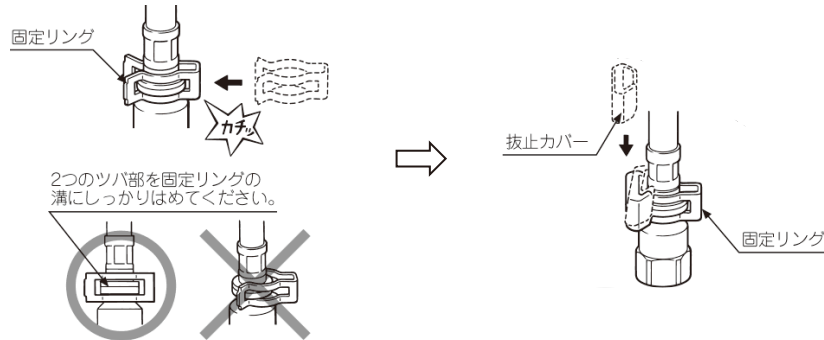
③フレキホースの接続

(1) 給湯口にフレキホース(長)、出湯口にフレキホース(短)を差し込む。

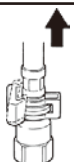
注意 ●Oリングを傷つけたり、ゴミかみしないようにする。
●給湯口と出湯口を間違えない。
※正しい接続ができなくなります。



(2) フレキホースの接続部に固定リング、抜止めカバーを確実にはめ込む。



注意 フレキホースを矢印の方向に引っ張り、確実にはめ込んでいることを確認する。
※しっかりはめ込んでいないと、抜止めカバーが外れて、漏水したり固定リングでケガをしったりする恐れがあります。

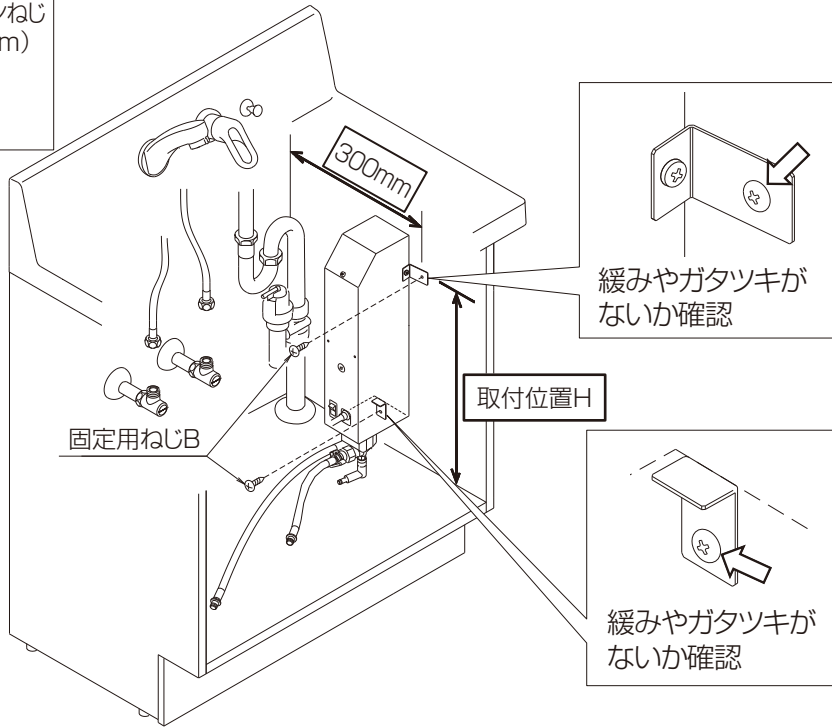


④即湯器の取付け

- (1) 下表よりキャビネットの間口・種類に合わせて、固定金具(上側)の取付位置Hを確認し、下穴(φ2.0程度)をあける。
- (2) 固定金具(上側)を合わせ、固定用ねじBで取り付ける。
※取付時はロングビット(150mm以上)を使用してください。
- (3) 水準器で即湯器が垂直であることを確認して、側板に固定金具(下側)を固定用ねじBで取り付ける。

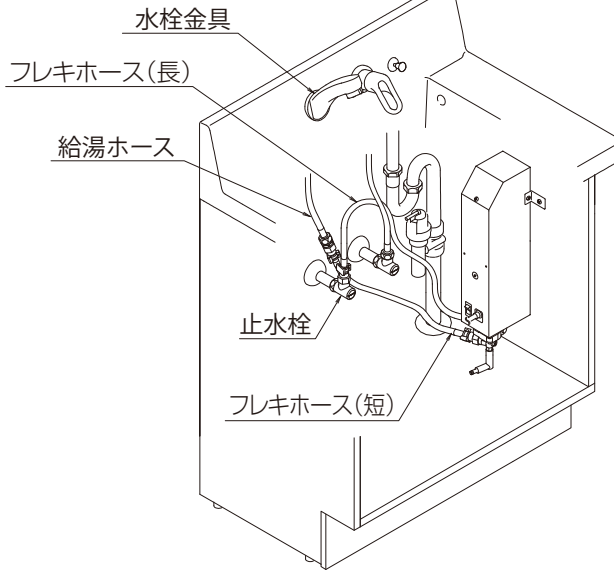
間口	種類	取付位置H (mm)		
		サイド収納なし	サイド収納あり(L)	サイド収納あり(R)
W500-600		380	—	—
W750		390	380	410
W900		410	390	410

固定用ねじB
(トラスタッピンねじ
φ4.0×10mm)



⑤フレキホースの接続

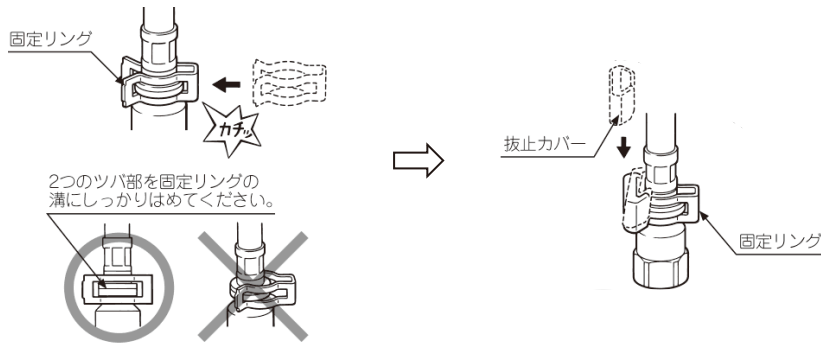
(1) 水栓金具の給湯ホースにフレキホース(短)、止水栓にフレキホース(長)を差し込む。



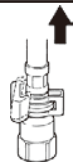
注意 ●Oリングを傷つけたり、ゴミかみしないようにする。
●給湯口と出湯口を間違えない。
※正しい接続ができなくなります。
●ホースを曲げる場合は、曲げ半径30mm以上を確保し、ホースを折らない。
※漏水や流量低下の原因となります。



(2) フレキホースの接続部に固定リング、抜止めカバーを確実にはめ込む。



注意 フレキホースを矢印の方向に引っ張り、確実にはめ込んでいることを確認する。
※しっかりはめ込んでいないと、抜止めカバーが外れて、漏水したり固定リングでケガをしったりする恐れがあります。



⑥以降の作業

即湯器本体の施工説明書6-4.膨張水排水ホース（黒）の接続、化粧台本体の取付説明書を確認する。